



国内外の国家プロジェクトに参画するIT企業。
提案力を武器に様々なソフトウェア開発に挑む。

株式会社マイクロソフトウェア

アドバンステクノロジー事業部

梅田 裕貴さん

Hiroki Umeda

2021年 大学院 工学研究科 工業化学専攻修了

<入社2年目>

PROFILE

休日は大学時代の友人とドライブや釣りを楽しんだり、ゴルフをしたりアクティブに過ごすことが多い。オンとオフのメリハリをつけてリフレッシュしている。

ビル管理システムのUI開発を担当 全行程を任せられ、成長を実感

当社は、通信制御・情報ネットワーク分野をリードする独立系のソフトウェア開発会社です。事業領域は幅広く、国内外の交通・航空管制や放送関連などの社会インフラを始め、空港の顔認証、車載カメラなど、様々なシステム・ソフトウェア開発を手掛けています。私が感じる会社の強みは、技術力と提案力です。コンサルティングから設計・開発の全工程に携わり、お客様目線で新しいソリューションを生み出し、国内外の国家プロジェクトにも参画しています。

現在、私はエンジニアとして、ビル管理システムの開発を担当しています。お客様にとって操作しやすい管理画面(UI)をつくるため、お客様の要望を踏まえてシステムを設計し、実装とテストを行います。以前は、上司の指示のもと開発を進めていましたが、最近では、すべての工程を任せられることもあり、成長を実感しています。

技術力と提案力を磨き、 国際的に活躍することが目標

私は普段から、業務に関するセミナーを受講したり、資格試験に挑戦したりと、新しい技術の習得に努めています。当社は経営層との距離が近く、経験豊かな方々の考え方を直接聞ける機会も多いです。

以前、データベースの追加、更新、削除を行いたいという要望に対し、多角的に調査を行ったことで、お客様やチームのメンバーも知らなかった、新たな方法を提案できました。既存の更新方法にとられない提案が高く評価され、やりがいにつながりました。

今後は、国際的に活躍するエンジニアになることが目標です。当社には、韓国や中国から来日してエンジニアとして活躍している先輩がたくさんいます。先輩方を見ていると、国が違って技術力は普遍的に通用するものだと実感します。語学力も身につけて、多くのお客様の要望に応えていきたいです。

東京理科大で学んだココが役立っている

学部4年次から修士2年次までの3年間、学术论文の作成を目標に、金ナノ粒子作成法の研究に力を入れました。多くの実験に取り組み中で、わからないことに対して仮説を立ててアプローチする力が養われました。同時に、自分で考えて物事に取り組み姿勢も身に付き、仕事でも大変プラスになっています。社会人は、あらかじめ答えのある問題ではなく、課題に合わせたソリューションを考える必要があります。幅広い知見は、必ずその助けになります。学生時代から主体的にいろいろなことに挑戦し、経験を積んでください。

株式会社マイクロソフトウェア

事業内容 日本と世界の社会インフラに貢献する「次世代を担うエンジニア集団」。国内外の国家プロジェクトなど、ITコンサルティングから設計・開発と全行程に精通し、社会に貢献。

設立 1983年2月23日

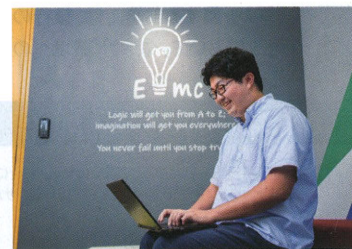
資本金 1億円

本社 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟6F

代表者 代表取締役社長 田中 聡

売上高 13億3,000万円(2022年7月決算期実績)

従業員数 110名(2022年4月現在)



社内は新しいことに挑戦する気風が溢れる。仕事を創る、価値を創造することを意識して業務に取り組んでいる。



この企業の詳しい
情報を手に入れよう！